

# Neues in Nara

Nr85  
2023年9月20日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集：浅川千尋 ([asakawa@mild.ocn.ne.jp](mailto:asakawa@mild.ocn.ne.jp))

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

## 1 今後の行事案内等

### ●ケルン雅楽アンサンブルの大安寺訪問 9月25日 (月) 午前10時～

ケルン雅楽アンサンブルご一行との交流会が9/25 (月) 10時から1時間ほど予定されています。本殿に御一行ご案内後、会長によるご挨拶、旅の安全を祈願するご読経、獅子吼殿に移動し、交流会開催を予定しております。会員の皆様の参加をお待ちしております。

### ●ドイツ語講座

初級は10月5日から講座が開始されます。中級クラスは受講生が1名来られないことになり、休講となりました。

### ●ドイツ料理教室開催

10月22日(日) 於：奈良市生涯学習センターキッチンルームにて開催されます。

### ●ドイツ映画会・シュタムティッシュ、

11月26日(日) 理事会、映画会及びシュタムティッシュを開催することになりました。

●第12回大安寺国際縁日～多彩な文化が織りなす国際交流フェスタ～、時間10時～16時、場所 大安寺11月3日(金、祝日) 大安寺 獅子吼殿及び境内での催しがあります。

●12月3日(日) 恒例のクリスマス会が開催される予定です。

次の**新人会員**が承認されました。

岡本筆子(けいこ)さん(奈良市在住)、川崎洋子さん(生駒市在住)、入江知子さん(奈良市在住)、堀口真澄さん(奈良市在住)、山本和美さん(京都府相楽郡在住)(いずれも奈良日独協会ドイツ語会話講座初級入会者)

## 2 ビアアーベント・Bier Abend 開催

7月30日(日) 午後5時半から大安寺で2019年以来4年ぶりに夏恒例のビアアーベントが開催されました。

隈田会員の司会で、河野会長が挨拶され、在日神戸大阪ドイツ連邦共和国総領事館の広報・文化専門官の飛鳥井氏が来賓の挨拶をされました。その後、河野会長の乾杯の挨拶により会は始まりました。



岡田会員の司会で水野会員ファミリーコンサート、三馬先生グループの演奏、ドイツ・オーストリアからの留学生による自己紹介・ドイツの歌の歌詞指導(発音等)なども行われました。



最後に、「折ったら光る棒」(ケミカルライト)をかざして祈りのひと時で締めくくりました。

(一番上の写真参照)。

会員を主に参加対象としましたが参加者43名で盛況でした。

### 3 会員だより

#### 草野俊典さん



(ベルリンの壁ギャラリー前で筆者)

今春、奈良日独協会に入会しました草野俊典です。従来は、“Neues in Nara”を拝読するだけでしたが、この度、会報に新入会員としての自己紹介を掲示して頂くことになりました。

ドイツとの付き合いは、学生時代からと長く、機会にも恵まれ就業先のドイツ法人に2度駐在経験をしました。

20代半ばでは、約6年(München, Düsseldorf 在独)、50代半ばでは約4年(Frankfurt を起点にドイツ各地、プラハにも定期的に訪問)住んでいました。

マルクの時代とユーロの時代双方を経験しましたが、個人的にはマルク時代の思い出が深く、ドイツ語しか通じない中で、大店法も無く不自由な生活環境でしたが、良い意味でのドイツらしさを満喫でき良い思い出があります。ユーロ時代になり、言葉面では、どこでも英語が通用する半面、日本同様に味気ないモールやチェーン店が跋扈しており便利にはなりましたが、それに伴い微笑ましい牧歌的なドイツはどこに？と感じました。

高齢者社会のドイツを支える各地からの移民、特にアフリカ、中近東からの移民も多く、平均年齢を押し下げると同時に、若い人が社会の活力につながる世界を肌で感じました。

帰国後、日本は少子化の影響もあり、活力の無い国だと改めて感じています。ドイツ人のインテグレーションは独善的な面もありますが、試行錯誤でも国を変えてゆくと言う意思、連立政権の面白さもあり、政治の面白い国だと2回目の赴任でひしひしと感じました。

当協会への入会は、少しでもドイツに関われる機会があればとの思いです。ドイツ人との仕事は嫌になるが、ドイツは好きの部類に入る人間です。そのせいか、今なお、ドイツテレビ番組やPODキャストを聞いて関心を寄せている毎日です。

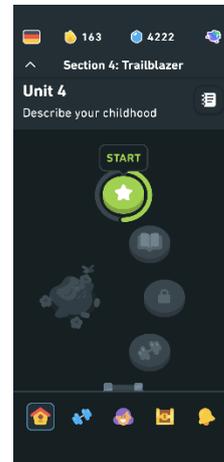
#### 山本和美さん

新入会員の山本知美です。よろしくお願いいたします。31年ぶり(!)にドイツ語の勉強を始めたことをきっかけに初級ドイツ語講座に参加、奈良日独協会に入会させていただくこととなりました。この場をお借りして、蜘蛛の糸のように細くて長い、私とドイツとの関係をお話ししたいと思います。

ドイツとの最初の接点は小学生低学年の頃に母の実家で見つめたドイツの写真集です。ドイツ文学を専門にし、大学で教鞭を取っていた伯父が、あまりに退屈そうにしていた私に見せてくれました。古城や街並みはどれも美しく、特にブレーメンやハーメルンの街は童話の中の物語が現実世界に広がっているようで小学生の私は強い衝撃を受けました。その頃から私にとってドイツは特別な存在となり、高校生の頃には、書店で旅行用のドイツ語会話集を立ち読みしたり、ドイツ人の高校生と英語で文通をし、互いの国の写真などを交換するなどしていました。

高校3年の時、伯父家族がドイツに1年間住むことになり、夏休みを利用して遊びに来ては、と誘われたのですが、大学受験を控えていたこともあり断念。その4ヶ月後にベルリンの壁が崩壊しました。行かない選択をしたことを今だに後悔しています。ドイツへの熱い思いはそこでプツッと切れてしまい、大学で第二外国語としてドイツ語を学んだ後は、ときおりドイツパンの店を見つけてはドイツに思いをはせるだけ、というような31年を過ごしてきました。

51歳の誕生日を迎えた今春、もう一度ドイツ語を勉強したい、という衝動に駆られ、勉強を再開。今は、ハイデルベルグへ行くという目標を胸にドイツ語と悪戦苦闘しています。



向かって左  
本人  
向かって右  
初心者向け  
ドイツ語学  
習用アプリ

#### 編集後記

Neues in Mara Nr 85 を発行することができました。できるだけ会員の皆様の声を取り上げていきたいとおもっております。この会報を通じて少しでも会員相互の交流が深まりましたら幸いです(浅川)。

SNS での情報発信も行っておりますので是非フォローしてください。

Facebook は、奈良日独協会 (Japanisch Deutsche Gesellschaft in Nara) です。

Instagram は、narajapanischdeutsch です。

